



編集・発行

大阪府立 呼吸器・アレルギー医療センター
大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1
TEL:072-957-2121
FAX:072-958-3291
HP:http://www.ra.opho.jp
E-mail:kokyucen@ra.opho.jp

病院でのお正月

院長 露口 泉夫

年末からお正月にかけて、病院は普段より空きベッドが多くなります。また、入院患者さんも、その多くは外泊をしてお家でお正月を過ごされます。その残りの方々は病状やご家庭の事情もあって、病院のテレビで「紅白」を眺め、除夜の鐘を聴かれて過ごされます。酸素吸入をしながら、点滴をしながら越年される方もおられます。



そして元旦の朝を病院でお迎えになられた方には、ささやかですが祝い膳の給食で新しい年を祝っていただきます。ベッドサイドでお子さんやお孫さんと一緒に今年のお正月をお過ごしになった方もおありでしょう。

来年の正月は是非とも自宅で家族一緒に祝いたい。そのために今年は病院で頑張るんだ。あるいは、この寒さを乗り切れれば桜咲く4月には退院できるんだと、皆それぞれに希望を抱いて病床で新年を迎えられたことと存じます。



人間だれしも、「希望」をなくしたら駄目です。今宵を眠れば必ず明日という明るい日が始まるのだと、その希望を抱いていただきたいのです。

その束の間の入院生活を出来るだけ快適に、そして未来への希望を抱ける日々を過ごしていただけるよう、それが私ども職員の努めであると考えております。

今年もお互いに頑張りましょう。明るい明日に向かって。

MRIのお話

放射線科部長 福田 晴行

当センターに最新のMRI装置が設置され、12月より検査を開始しています。

MRI検査はMagnetic Resonance Imaging (磁気共鳴画像) の名の通り、人体に磁気をあてて画像を撮影する検査方法です。MRI装置の内部には強い磁場が常時発生しており、人体内にある水素原子核がその磁気に共鳴して微弱な電波を発生します。MRIはその電波を受信して画像を作成します。CT(コンピュータ断層撮影)検査は人体に対していろいろな角度からX線をあて、得られたデータをコンピューターで再構築して画像にしますが、MRIは放射線を使いません。

MRI検査では、造影剤を使わずに血管を画像化することもできます。また、X線撮影やCT検査ではわからない骨髄、軟骨、脊髄などがきれいに見えます。脳(脳転移など)、婦人科領域、縦隔、脾臓・胆管などの病気でも、CT検査よりも優れている面が多いです。さらに、CT検査や超音波検査ではものの形を見て診断していますので、病気が進んで形態が変わってしまった状態でないと病気を見つけにくいのですが、MRIなら新陳代謝や血流が悪くなった段階での早期診断ができます。



このように大変有用な検査法なのですが、欠点もあります。心臓ペースメーカーやその他磁気に反応する金属が体内にあると検査を受けられない、CTと比較して検査時間が長い、検査時に装置の発する音が大きい等といった点です。

現在の医療ではMRI検査は必要欠くべからざるものとなっておりますので、当センターに設置されたMRI装置を有効に利用して、府民の方々の健康を守るという我々の使命に邁進したいと思っています。

当センターの理念…“私たちは最新の医療水準で、最適な医療サービスを、思いやりの心をこめて提供します。”

1月・2月の教室案内

- ・糖尿病教室 ●1月12日(木)・13日(金) ●2月 2日(水)・ 3日(木) 午後1時半～
- ・カンガルー教室 ●1月11日(水)・25日(水) ●2月 8日(水)・22日(水) 午後1時半～
- ・喘息教室・理学療法(小児科) ●1月19日(木) ●2月16日(木) 午後2時～

《放射線科の紹介シリーズ(3)》

新年は4日よりMRI(磁気共鳴画像装置)検査を行っています!

昨年12月1日より稼動しましたMRIですが、初日より順調に検査を実施しています。引き続き病気の発見、治療に役立たせるよう努力いたしますので本年もよろしくお願いたします。

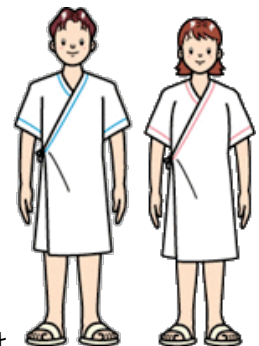
さて、検査稼動時から全身の各部位を撮影させていただきましたが、特に頭部、腹部、骨盤、脊椎の検査を多くさせていただきました。MRIの高い性能と熟練した撮影技術により良質な画像が得られています。また、放射線専門医の画像診断により診断、治療に役立っていると実感しています。

■□MRI検査の印象□■

検査を受けられた患者さまの印象を聞きますと

- ① いつの間にか寝てしまった。
- ② 機械が大きいので怖いと思っていたが何とも無かった。
- ③ 検査前の説明を聞き安心できた。

という意見がありました。全般的にみて安全に検査ができていると思えます。



■□冬、使い捨てカイロに注意□■

検査にあたり、より注意が必要な事象もあります。それは使い捨てカイロです。寒い季節のため、使い捨てカイロを肌着の上から貼り付けている方が見受けられます。この使い捨てカイロは、素材に鉄を含有しておりMRI検査による人体や画像への影響があるため、除去して検査を行います。このような状況から、より注意が必要と痛感していま

す。

■□安全確認□■

当院では安全確認を積極的に取り組み、検査の説明、検査前の安全確認を行っております。更に放射線科では患者さんにもご協力いただき、検査前にご自身にお尋ねして安全確認をさせていただくようにしています。他の病院で検査経験のある方も多く、MRI検査のご理解もあり実施する側にとってはありがたい環境となっておりますが、安全確認を二重、三重に行い、安全、安心、快適なMRI検査を心がけています。患者さまにはご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

